

式 辞

校庭の木々の蕾もほころび始め、春の息吹が感じられる今日、ここに海田町立海田西中学校、第32回卒業証書授与式を挙行することができますことをこれまで本校に対してご理解とご協力をいただいたすべての皆様に心から感謝いたします。

保護者の皆様には、今日の日に至るまでの数々のご苦勞に思いをはせますと、この日を迎えるにあたっての喜びもひとしおのことと拝察いたします。お子様のご卒業、心よりお祝い申し上げます。

さて、卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございませう。皆さんにお渡しした卒業証書は、中学校の全課程を修了したと同時に、9年間の義務教育を終えたことを証明するものです。しかし、ここはゴールではなく、スタートラインです。ここから皆さんは、それぞれがめざすゴール、すなわち皆さんそれぞれが描いた「夢」に向かって、それぞれの道をとおり、あなたに合った速さで、あなたらしいやり方で果敢に挑戦していくこととなります。社会全体が急激な変化をしている時代。予想困難な時代。皆さんがこれから進んでいく道のりは平坦な道ばかりではありません。ときには困難な壁に突き当たることもあるでしょう。しかし、皆さんにはこの海田西中学校で培った「しなやかさ」と「たくましさ」が身についています。自信をもって、困難な壁にも立ち向かってほしいと思います。

プロ野球、メジャーリーグでも活躍し昨年引退したイチロー氏は次のように語っています。「壁というのは、できる人にしかやってこない。超えられる可能性がある人にしかやってこない。だから、壁があるときはチャンスだと思っている。」

皆さんの目の前にある壁は、すべて超えられる壁です。それをチャンスだと思えるかどうかは鍵となります。目の前の壁をチャンスに変え、その壁を乗り越えたときに皆さんの前にはそれまで見えなかった新しい道が開いているのです。

卒業生の皆さんに将来の夢を問うたとき、多くの方が「人の役に立ちたい」「人を感動させたい」と答えてくれました。これぞまさに「志」であると思います。人の幸福は自分一人では完結しません。人は自らの行いが誰かの幸福につながっていると実感したとき、自分の行いが誰かを笑顔に変えたとき。誰かと幸福を分かち合ったときにこそ最上の幸福を感じるのだと思います。だから、人の役に立ったと感じたときそれは自分の幸福となり、人を感動させたとき、それはあなた自身が感動しているときでもあるのです。

卒業生の皆さんの輝ける未来を確信し、感動を多くの人々と共有できることを祈りつつ、心からの激励の気持ちを込めて式辞とします。

令和2年3月8日

海田町立海田西中学校
校長 埴越 将樹